

荷姿

ダイクール 15kg
ダイトッププライマーエース 15kg
ダイトップL型 15kg
防水万能シーラー 14L
ダイトップH型 20kg

性能表

品名	ダイクール	ダイトップL型	L型シルバー	ダイトップH型	試験条件
性能結果					
耐水性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	水道水 7日間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	水酸化カルシウム飽和水溶液48時間浸漬
低温安定性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	温度-5℃~常温 3度繰り返し試験
促進耐候性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	キセノンウェザーメーター 1200時間

性状表

品名	ダイクール	ダイトップL型	L型シルバー	ダイトップH型	試験方法
性能結果					
粘度 (mPa・s)	1000~2000	1000~2000	1000~2000	4000~6000	TVB10 粘度計(23℃)
比重	1.1~1.3	1.1~1.3	1.0~1.1	1.5~1.7	比重計(23℃)
加熱残分	約40%	約35%	約20%	約70%	温度105℃3時間後残査量
pH	7~9	7~9	6~8	6~8	pHメーター(23℃)

保管上の注意

- ①水性エマルジョンですので、冬季や寒冷地などにおいて気温が下がりますと、エマルジョン破壊が起こり、使用不可能となる恐れがありますので、気温低下時の保管には十分注意してください。
- ②製品は直射日光や降雨の影響を避けるため、屋内の冷暗所に保管してください。
- ③ダイトップL型シルバーは、アルミニウム顔料と水が反応し、温度変化によりガスが発生しますので、開封後保管する場合は、完全な密封状態にしないでください。又、未開封状態の場合の保管についても、容器の口金部にガス抜き栓を使用していますので、ガス抜き栓が塞がらないように保管してください。
- ④ダイトップL型シルバーは、容器の口金部にガス抜き栓を使用していますので、缶を傾けたり、横倒しすると塗料が漏れる恐れがあるため注意してください。

危険有害性情報・安全対策

- ①製品に関する危険有害性及び安全対策などは、SDS(安全データシート)を必ずお読みください。
- ②製品をご使用になる前には、製品容器ラベルに記載している注意事項をよくお読みください。

取り扱い店

2025.09

美装性 環境対策 耐久性 耐候性

高性能 防水層 保護仕上げ塗料

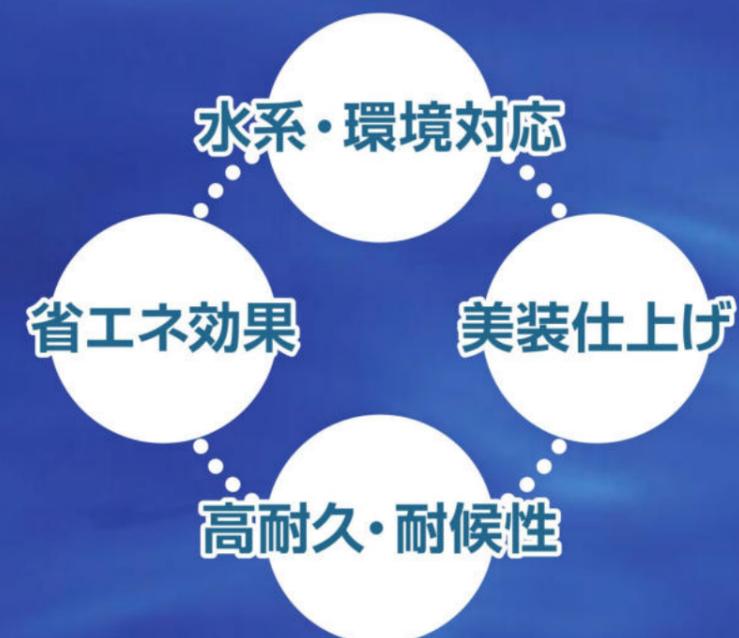
ダイクール

遮熱
タイプ

環境省ヒートアイランド対策実証品

ダイトツプ

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド放散等級)



関西パテ化工株式会社

ダイクール・ダイトップ

ダイクール・ダイトップは特殊アクリル樹脂系エマルジョン型塗料です。
塗膜強度が大きく耐久性・耐候性・防水性に優れた、露出防水層の保護仕上げ塗料です。

標準施工仕様

工程	防水層	加硫ゴムシート	砂付キアスファルト	ウレタン樹脂	水和凝固型 (コンクリート)	養生
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 塗装面のゴミ・ホコリ・泥等を高圧洗浄などで清掃後、十分に乾燥させてください。 油分等がある場合は、完全に除去してください。 					
ダイクール(遮熱タイプ) 非歩行	塗布量：2回塗りで(kg/m ²)				塗装間隔：2時間以上(23℃) 最終養生：24時間以上	
	0.30~0.35	0.40~0.50	0.30~0.35	0.35~0.40		
ダイトップL型 非歩行	塗布量：2回塗りで(kg/m ²)				塗装間隔：2時間以上(23℃) 最終養生：24時間以上	
	0.20~0.25	0.40~0.50	0.15~0.20	0.20~0.25		
ダイトップH型 軽歩行	塗布量：2回塗りで(kg/m ²)				塗装間隔：2時間以上(23℃) 最終養生：24時間以上	
	0.85~0.95	1.30~1.60	0.80~0.90	0.90~1.00		
塗装工具	ローラー・ハケ・スプレーガン					

推奨プライマー	加硫ゴムシート	砂付キアスファルト	ウレタン樹脂	塩化ビニル	水和凝固型 (コンクリート)	養生
製品名	プライマーエース	プライマーエース	防水万能シーラー	防水万能シーラー	防水万能シーラー	
塗布量	0.12~0.15 (kg/m ²) 1回塗り					養生2時間以上

- ・トップコート塗り替え時、旧塗膜又は下地が劣化し、脆弱及び吸い込みが激しい場合、上記プライマーを塗布してください。
- ・ウレタン樹脂防水層上に、施工する場合は必ず防水万能シーラーをご使用ください。

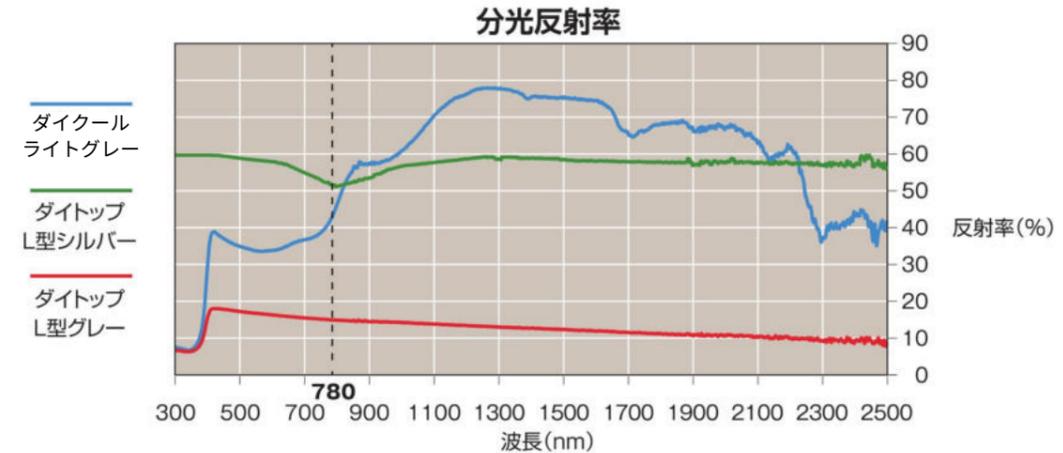
施工上の注意事項

- ①塗装間隔は、気温23℃・湿度50%時の目安です。下地の状況や塗装時の気象状況により変化します。
- ②ダイクール・ダイトップは、基本的に無希釈でご使用ください。
- ③気温5℃以下、40℃以上・湿度85%以上での施工、ご使用は避けてください。
- ④降雨・降雪・降霜などの気象状況が予想される場合での施工は避けてください。
- ⑤下地の状況により、所要量は変動します。特に塗り替え(改修)工事では、下地への吸い込みが予想され、標準塗布量よりも多く材料が必要になる場合がありますので、施工前に確認試験を行ってください。
- ⑥ポリマーセメント系防水材への施工は避けてください。接着不良による剥離・エフロによる汚染が起きる場合があります。
- ⑦カラーゴムシート上への施工は、密着力が劣るため避けてください。
- ⑧塩ビシート防水層上への施工に関しては、弊社に別途ご相談下さい。
- ⑨ご使用前に攪拌機などを用いて、均一になるまで十分に攪拌・混合してください。

ダイクール遮熱性試験

高い日射反射率

- ・近赤外線領域の太陽光を効率よく反射することにより、優れた遮熱性能を発揮します。
- ・塗膜表面の遮熱効果により、居住空間のエネルギー効率の向上に寄与します。



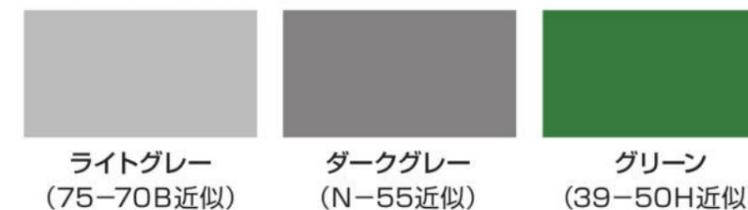
ダイクール (色名：ライトグレー、明度値=69.9) の試験結果
計測結果例(下地：カラートタン板)

日射波長域	波長範囲	反射率
近紫外および可視光域	300~780nm	41.7%
近赤外域	780~2500nm	68.0%
全波長域	300~2500nm	54.6%

*)明度=69.9 : CIE L*a*b*(1976) D65/10°/SCI
*)比較例:
ダイトップL型シルバー 近赤外域反射率=55.2% (下地=カラートタン板)
ダイトップL型グレー 近赤外域反射率=11.6% (下地=カラートタン板)
*)測定機器:株式会社日立ハイテクノロジー社製
U-4100 分光光度計

標準色カラー見本

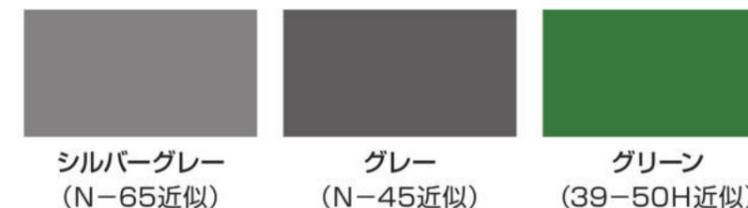
ダイクール(遮熱タイプ)



ダイトップL型



ダイトップH型



※実際の各種防水層における仕上がりとは、多少異なりますのでご了承下さい。
※指定色の調色等は別途ご相談下さい。